

上島町の皆さん、こんにちは！

弓削・生名地区担当ALTのシーウェイです。

今回は、給食の話です。私が日本に来て一番驚いたのが給食です。日本の子供にとって、給食は学校生活の中の一部なので、給食についてあまり考えたことがないと思います。ですが、給食がない国で生まれた私は、給食を通じてたくさんのことを学びました。

まず、給食は一人でできることではありません。机を拭く人や食材を運ぶ人などそれぞれ役割があり、子供達が協力して行います。そして、給食の献立は、カロリーをきちんと計算して決められています。子供達は、苦手なものでも頑張って食べています。また、消化しやすいように、牛乳を飲みながら飲むことも食事にとって大事なことだと思います。

それから、全員一緒に食事を初め、食べ終わることも大事なことです。先に食べ始めることや、食べ終わった人が先に席を立つことも、よくないことだと思います。ですから、食事の前の「いただきます！」と終わってからの「ご馳走さまでした！」は重要ですね。

子供達は、お皿をかえす前にきれいに食べることができているか担任の先生に見せます。きれいに食べることは、礼儀だと思います。

私は小学生のときに、「お皿のご飯をきれいに食べなければ、将来結婚する妻の顔もご飯が残ったお皿のようになりますよ。」とよく母に言われました。これがきっかけで、将来きれいな妻を見つけられるように、お皿のご飯をきれいに食べるようになりました。この話が本当かどうか、まだわかりませんね。

では、給食のないシンガポールでは、昼ごはんはどのようにしていると思いますか？

シンガポールの学校には食堂があります。食堂には、



店が8から10店舗あります。パン屋さんや、麺屋さん、カレー屋さん、チャーハン屋さん、ドリンク屋さん、日本料理屋さん、中国料理屋さん、韓国料理屋さんなどたくさんあります。シンガポールの学校では、朝休み（30分）と昼休み（1時間）の時間があり、その時間に全校食堂に行って、好きな店で買って食べます。食べた後は仲間と一緒に遊びに行きます。

これは、日本に来る前まで普通のことだと思っていましたが、日本の給食を見てシンガポールの学校での食事習慣は自由があつていいのですが、よくないところもありました。

まず、シンガポールの子供達は毎日お父さんやお母さんから小遣いをもらうので、ポテトチップスや、フライドポテト、アイスクリーム、ソフトドリンクなどの好きなお菓子を買って食べます。そういう風に、徐々に好き嫌いなものが出てきます。

後、シンガポールではみんなが一緒に食事を始めることをしません。食べ終わった人から遊びに行きます。

食事について、日本とシンガポールでは文化や習慣が違うので、比べることはできません。ですが、日本の給食はいいところがいっぱいあるので、日本の子供達は給食を通じて学ぶことがたくさんあるということ意識して、しっかり食べてください。

ちなみに、シンガポールの生活や、知識、教育などについて知りたい方は地区の英会話教室に来てください。



▲シンガポールマネーシメント大学の食堂



▲上島町の給食

各地区の英会話教室

《弓削》毎週月曜日 13:30~

弓削地域交流センター第1会議室

《生名》毎週月曜日 9:00~ 生名公民館

毎週火曜日 19:30~ 生名公民館

《岩城》毎週木曜日 20:00~ 岩城総合支所庁舎

《魚島》毎週水曜日 19:30~ 魚島開発センター

こんにちは 町長です

いきな島一周マラソンに参加しました。

とは言っても、私は3kmコースで、ほとんどの小学生が私よりも速く、「練習は嘘をつかない」という言葉は本当だと納得しました。

来年は、倍の練習を積んで小学生を抜き去ることが目標です。（但し、低学年です）

5kmや10kmコースに参加される方も多く、中には七十歳を超えている人もおり、ただただ尊敬しています。

遠く東京などの県外や、町外・町内の一般や中高生をはじめ、上島町役場職員も大勢が参加し、大会を盛り上げてくれました。初回から二十六回連続して出場してくれている方々もいらっしゃる事を御存知でしょうか。

私の長男と次男も、私の知らないうちにエントリーしており、沿道からの声援を励みに完走しました。家族三人で参加できたことは何よりの幸せであり、その環境を作ってくれた皆さんに感謝しています。

実は、学生時代には私の妻の方が走るのが得意だった記憶もあり、四人一緒に「いきな島マラソン」に参加できたらと願っています。

町民の皆さん、上島町には瀬戸内という素晴らしい景観があります。外に出て年齢に合わせた運動を楽しんではいかがでしょうか。



上島町長 上村俊之